



# 松蔭 校長室だより

一校長から保護者の皆様へのメッセージですー

2024年 2月1日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校  
校長 浅井 直光

2月17日(土) 松蔭生全員で「奉仕活動」に取り組みます。 “スクールキャンペーン”の日です!

## 「奉仕活動の日」が近づいてきました

本校の伝統行事「バザー」が始まったのは、1世紀前の大正時代、学校がまだ現在の兵庫県庁の北方にあった頃のことです。同窓会が運営の中心となって入場料も徴収していた当時の「バザー」ですが、収益は校舎の修築や新校地購入の資金の一部に充てていました。後に校友会（現在のPTAの原形）も加わり、昭和初期に現在の校地へと移転した後は、必要な教育備品の購入や運動場の整備などなどを目的としてバザーが行われました。やがて生徒が参加する学校行事となり、その目的を「勤労奉仕の喜びを学ぶこと」とし、飲食の模擬店運営などを行いました。近年では、バザー収益の全額を慈善団体や福祉事業者、授産施設、日本赤十字社などに寄付するようになりましたが、その寄付先についても、生徒の話し合いで決定していました。長い歴史を持つ松蔭「バザー」ですが、運営の担い手や目的もしだいに変化し、「奉仕の精神」を意識する取り組みとして定着していました。

そのようななかでみまわれたコロナ禍ですが、感染防止対策により、飲食物中心の模擬店運営は不可能になりました。

「奉仕」の精神をどのような形で実践することが求められるのか、生徒にとって学びと気づきの機会となるイベントにするには、どうしたらよいのかと検討した結果、「奉仕活動の日」

“SHOIN School Campaign”として形を変えて再出発することにしたのです。これは、従来の「バザー」の趣旨であった

「奉仕の精神」を具体化するアイデアを学年やクラス、グループで相談して決定します。活動の場所は校内・校外を問わずOK。

ゼロからボランティア活動を考えてみよう、自分が今出来ることを皆に提案してみよう、皆で決めたら協力して取り組もう、という一日です。



〈昭和初期のバザーのようす〉

## サービスラーニングの取り組みとして

海外では、正課授業として「コミュニティサービス」や「スタディーサービス」の講座を設けている大学があります。また、インターナショナルスクールではボランティア活動を必修化している場合も多いのです。国内では近年、ようやく「サービスラーニング」のプログラムを導入する大学が出てきました。サービスは「奉仕」、ラーニングは「学習」ですから、学習と奉仕をセットにして、教室での学びを学外の活動体験に生かし、学びと気づきを得るといいう教育手法です。本校では、2020年度からの中学ストリーム制、今年度からの高校新コース制において「探究学習」を柱の一つとしていますので、これに「奉仕の精神」を関連付けて「サービスラーニング」として取り組みを進めているのです。

\*本校の探究活動や奉仕活動については、次の国際協力 NGO「ぼらぷら」の紹介ページをご覧ください

☞ [松蔭中学校・松蔭高等学校 SDGs インタビュー 《SDGs&海外ボランティアのぼらぷら》](#)

## 当日は「ミニバザー」も 保護者の方もぜひご参観ください

2月17日(土)「奉仕活動の日」当日には、PTAと千と勢(同窓会)によるミニバザー(売店)、高3生有志が運営するフードスタンド(焼きそば、焼き鳥、はしまき、ポップコーン)、軽食等を販売するキッチンカーも出店予定です。

当日の運営の概要は以下のとおりです。今年度の生徒の取り組み内容や当日運営の詳細、保護者の方のご参観については後日、Classiで連絡いたします。

9時~12時 生徒活動(保護者の皆様には、生徒活動の様子をご参観いただけます)

11時~14時 ミニバザー売店、キッチンカー、高3生有志フードスタンド

\*保護者の方は11時頃より購入できます。生徒は、活動終了・終礼後に購入可としています。

<前回(昨年)の「奉仕活動の日」取り組みを紹介します>

中IDS 清掃活動 青谷バス停・灘駅・王子公園駅周辺清掃

中2DS 千羽鶴を広島へ届ける取り組み

中3DS 家庭の不用品回収とアジア発展途上地域のリユース

中1GS ジェンダー平等と貧困についての動画制作と発信

中2GS 紙使用の削減について海外の中高生とのオンライン世界合同プレゼンに参加

中3GS 廃油回収とキャンドル製作

高1 各生徒によるSDGs関連テーマの探究成果のプレゼン

高2 SDGsに関連するアクションプランのプレゼン